

【ロシア】 国家院(下院)選挙における法定得票率の制限緩和

海外立法情報課・小泉 悠

* 2007 年以降、ロシアでは小政党を排除し、大政党に有利な選挙制度への転換が進められてきた。しかし、2008 年の金融危機以降、与党「統一ロシア」への支持率は低下し続けており、2011 年 12 月の国家院選挙では大幅に議席を減らす結果となった。こうした中で 2011 年 10 月に国家院選挙に関する法改正が行われ、政党の法定得票率に関する制限が一部緩和された。

改正の概要

2011 年 10 月 20 日、2005 年度連邦法第 51 号「連邦議会における国家院議員の選挙について」(以下「国家院選挙法」) 第 82 条第 4 項が改正された。同法は、ロシアの下院に相当する国家院の選挙について定めた法律である。この改正により、政党が議席を得るために必要な法定得票率が従来の 7%から 5%へと引き下げられた。

2005 年度の国家院選挙法では、比例区での得票が投票総数の 5%以上の政党のみが議席を得ることができるとされていたが、2007 年の改正によってこの下限が 7%に引き上げられた。その後、同法は 2009 年に一部改正され、得票率が 5%以上 6%未満の政党には 1 議席、6%以上 7%未満の政党には 2 議席を与える救済措置が導入されていたが、今回の改正では 2005 年の規定に戻ったことになる。この規定は、2016 年以降の国家院選挙に適用される。また、メドヴェージェフ大統領は 2011 年 6 月の「フィナンシャル・タイムズ」誌に対するインタビューで、政党の法定得票率を 3%まで引き下げることとも考慮していると述べた。

改正の背景

現在の与党である「統一ロシア」は、2001 年にプーチン大統領(当時)を党首として結成され、政権与党となった。しかし、同党結成後初の 2003 年度国家院選挙では 450 議席のうち 223 議席しか得ることができず、単独で過半数を確保できなかった。

その一方、「ロシア地域党」、「国民の声」、「ロシア社会主義統一党」の中道左派 3 党は、政治連合「祖国」を結成して 36 議席を得、共産党に次ぐ野党第 2 党へと躍進した。また、当時は小選挙区比例代表並立制であったため(議席の半分を小選挙区で選出、残りを比例区で選出)、比例区では総投票数の 5%を得られない「ヤーブロコ」や「右派連合」といったリベラル政党も、リベラル派の支持層が多い都市部の小選挙区で議席を得られていた。これに対して 2007 年の法改正では、以下の様な選挙制度改革が導入された。

- ・ 政治連合の禁止
- ・ 小選挙区制の廃止と比例代表制への全面移行
- ・ 政党の法定得票率の 5%から 7%への引上げ

これらの改革はいずれも統一ロシアをはじめとする大政党に有利なものであり、他方、地域的基盤の偏った小政党は議席の獲得が困難になった。

2007年の国家院選挙における統一ロシアの得票数は、2003年と比べて92議席増の315議席となった。これは全議席の3分の2以上の議席であり、単独で憲法改正も可能となったことを意味している。旧「祖国」系政党の大部分はロシア年金党やロシア生活者党とともに「公正ロシア」を結成して野党第3党となり、共産党や自由民主党も議席を微増させた。一方、ヤーブロコ及び右派連合は全議席を失い、国家院に議席を持つ政党は、統一ロシア（与党）、共産党、自由民主党、公正ロシアの4政党のみとなった。

しかし、2008年の金融危機以降、統一ロシアに対する国民の支持は低下傾向を示している。2011年12月に行われた国家院選挙では、統一ロシアは77議席減の238議席となり、過半数を失う寸前まで後退した。さらに選挙後にはモスクワを初めとする大都市で市民の大規模な街頭行動が展開された。直接的なきっかけは国家院選挙の投票過程で統一ロシアが有利となるよう不正が行われたとの疑惑であるが、プーチン首相の大統領復帰に対する抗議の意味合いも強いとされる。

法改正の影響

こうした状況下で行われた今回の法改正に関して、メドヴェージェフ大統領は「ロシアにはより開かれた政治的競争が必要」であり、「多様な野党が議席を得られるようではなければならない」と述べている。さらにメドヴェージェフ大統領は2011年12月に行った一般教書演説の中で選挙制度改革に言及し、小選挙区の復活や政党登録の簡易化（従来は4万人分の署名が必要とされていたのに対し、これを500人分に減らす）などを検討していることを明らかにした。今回の法定得票率の緩和とも合わせて、選挙制度改革によって小政党の参入を再び可能とし、政権に対する不満を和らげる意図があるものと見られる。

また、統一ロシアに協力的なりべラル野党を設立することで、支持率の減少を補う狙いがあるとも指摘されている。2008年には「右派連合」、「市民勢力」、「ロシア民主党」の三党が合同して新党「正義」が設立されたが、同党は統一ロシアと密接な関係にあり、実際にはリベラル派の支持層を取り込む狙いがあると元右派連合幹部のネムツォフ元第一副首相は指摘している。

参考文献(インターネット情報は2012年1月24日現在である。)

- ・ Федеральный закон от 18 мая 2005 г. N 51-ФЗ "О выборах депутатов Государственной Думы Федерального Собрания Российской Федерации" (2005年度連邦法第51号「連邦議会における国家院議員の選挙について」) <<http://base.garant.ru/12140155/>>
- ・ "Interview with President Dmitry Medvedev," *Financial Times*, 2011.6.19.
<<http://www.ft.com/cms/s/0/4bfa1f38-9a90-11e0-bab2-00144feab49a.html#axzz1kFTn0PxB>>